

支圧板ロックボルト逆巻き工法説明資料

第一段階施工（図1参照）として、法面上端部から少なくともロックボルトの施工が可能な範囲で切り土を行い、切り土の施工直後にその段の安定に必要なロックボルトの施工を行う。

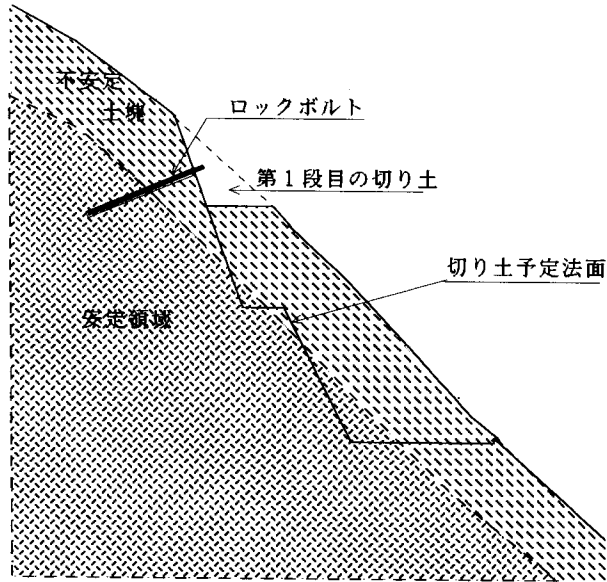


図-1

第二段階施工（図2参照）として、切り土の法面に菱形金網を敷設し1次支圧板と切り土法面の凹凸とのなじみをよくするため敷きモルタルの施工を行う。

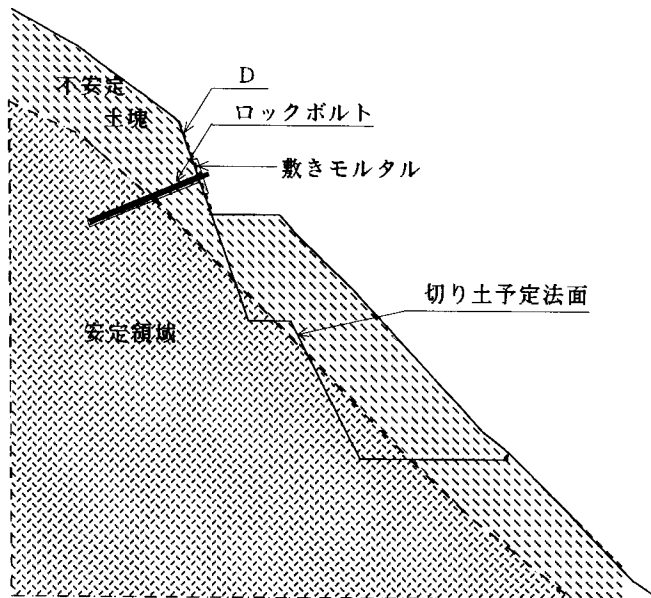


図-2

第三段階施工（図3参照）として、敷きモルタルにより整形した切り土法面と鋼製プレートとの隙間をモルタルで充填し、施工時の安定を確保する1次支圧板をロックボルトの上端部にロックナットにより取り付ける。

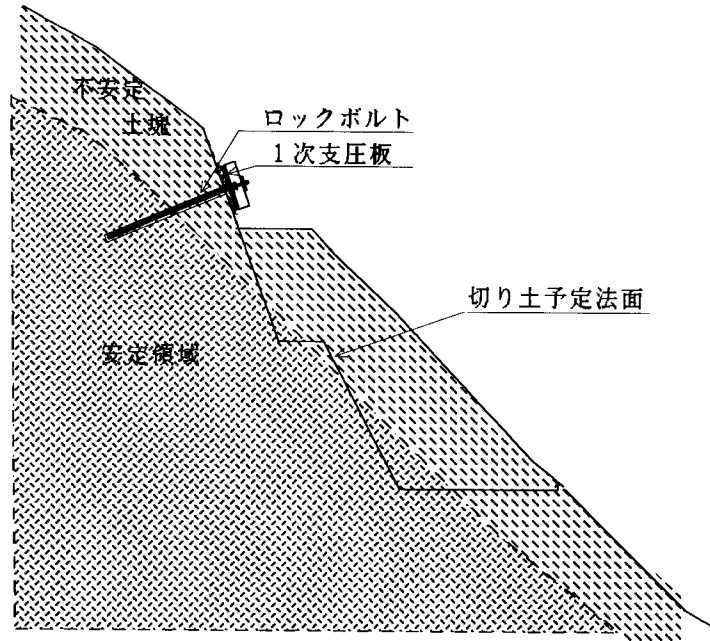


図-3

第四段階施工（図4参照）として、更に法面上端部から下端部に向け下段のロックボルト施工が可能な高さの切り土を行う。

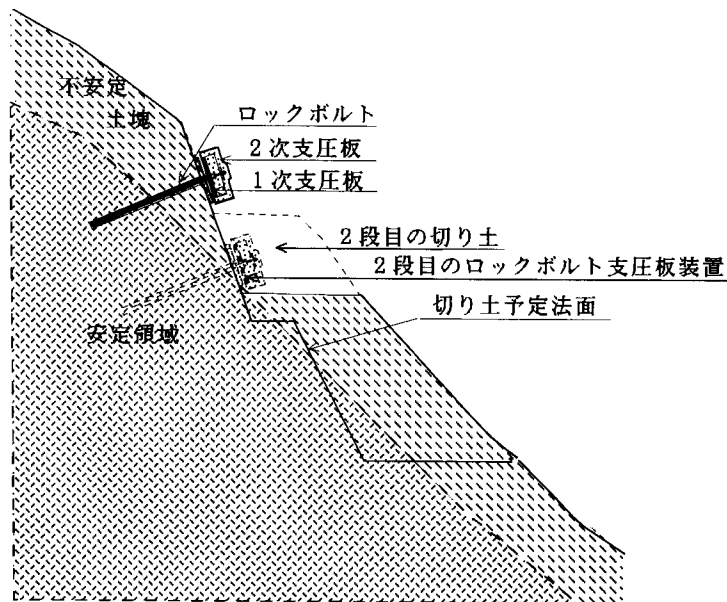


図-4

長期的な法面の安定を図る2次支圧板は、1次支圧板にモルタル又はコンクリートを吹き付け現場打ちにより施工を行う。